

祭りの復活から門前の復興へ



門前復興研究

第3号

Learning Crisis研究会

連絡先: dsat.shibata@gmail.com

発行所: 東京都世田谷区駒沢1-23-1

駒澤大学 柴田邦臣研究室

「門前復興研究」は「ひと・健康・未来研究財団」の助成で発行しております。

2年間の祭礼・文化支援まとめ

街の復興は、「祭り」の再開なくしてははじまりません。

門前町の各地でも、2024年からの2年間で、多くのお祭りが再開いたしました。そのうちのいくつかでは、神輿、曳山、さらに獅子舞が復活したところも。

駒澤大学 Learning Crisis研究会(駒大「C研」)は、大学生を連れて、門前町の祭り復活の手伝いをしたり、公民館・集会所や仮設住宅団地などで、お祭りの写真展やお茶会を開催してきました。今年も引き続き開催・支援してまいります。神輿を担いだり、旗を持ったり、準備や片付けなどを頑張っている学生や教員を見かけましたら気軽に声がけください。引き続き、よろしくお願いたします。

2024年

- ❖ 3月24日
「雪割草まつり」
震災後の再開イベントをお手伝いしました。
- ❖ 8月10日
「皆月山王祭」
再開後の旗持ちに加わりました。
- ❖ 8月13日
「松明の夕べ」
門前町復興祈願花火
再開後の夜間警備のお手伝いをしました。
- ❖ 8月17-18日
「黒島天領祭」
曳山のカジ棒に加わりました。

2025年

- ❖ 1月2日
「皆月アマメハギ」
取材をしました。
- ❖ 2月11日
「門前区春季例大祭」
直会と片付けに参加しました。
- ❖ 3月14日
「鹿磯チンチクリン祭り」
獅子の中に加わりました。
- ❖ 7月27日
「浦上大祭」
全面的にお手伝いしました。
- ❖ 7月28日
「道下夏祭り」
曳山と出店をお手伝いしました。

などなど...

次号第4号では、今年の門前町での、祭礼支援の予定を掲載します。ご期待ください！

能登には著名な祭礼が多いですが、なかでも旧門前町の祭り(祭礼)には、他地域にはない特徴がみられます。例えば門前の獅子舞は、越中・氷見から安代原に伝わった記録があり、学術的には「越中獅子」に分類されてきましたが、実際にはカヤに入る人数も、振りも氷見とは大きな違いがあり、むしろ、門前の獅子舞としての独自性と一体性が確認できます。門前獅子舞」としての評価と伝承が、さらに求められます。

駒大コラム
復興分析
門前獅子舞・「祭り」の独自性を考える